



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 加藤産業株式会社
 コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 和弥
 (氏名) 神月 豊
 TEL 0798-33-7650

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	725,260	1.7	6,973	21.0	8,165	19.7	5,334	33.6
28年9月期第3四半期	713,426	3.6	5,761	15.0	6,823	12.4	3,993	16.8

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 8,689百万円 (274.7%) 28年9月期第3四半期 2,318百万円 (78.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	145.63	
28年9月期第3四半期	107.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	313,683	112,148	34.6
28年9月期	304,788	105,038	33.5

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 108,591百万円 28年9月期 101,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		23.00		23.00	46.00
29年9月期		23.00			
29年9月期(予想)				29.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年8月9日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 29年9月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	965,000	1.2	8,420	6.1	9,500	5.0	6,000	15.3	163.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	38,153,115 株	28年9月期	38,153,115 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	1,522,328 株	28年9月期	1,522,109 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	36,630,914 株	28年9月期3Q	37,123,430 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景とした緩やかな回復基調が続いているものの、海外情勢では、米国の景気は回復が続き、中国も景気を持ち直しの動きがみられる一方で、今後の政策の動向等により下振れリスクの懸念があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しておりますが、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いております。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化も見られ、企業を取り巻く競争環境が幅広くなり、また、人手不足等に伴う物流関連コストの負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において当社グループは、卸売業の役割である「つなぎ」と提案型営業を推進し、営業力のさらなる強化により小売業をはじめとした取引先との取り組みを一つひとつ積み重ね、店舗の売場創造提案を行うとともに自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、価格だけに頼らない価値の提供に取り組まれました。また、物流費をはじめとした諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションにより経営の効率化を進めました。

海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、中国・シンガポール・ベトナム国内での食品卸売事業の展開と、日本を含めたアジア諸国間の食品流通事業の構築を図っており、アジア地域における事業展開の強化を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて1.7%増加し、7,252億60百万円となりました。利益につきましては、自販力の強化と利益管理の徹底及び自社ブランド商品の拡販を図るとともに、物流費の抑制を進めた結果、営業利益は69億73百万円（前年同四半期比21.0%増）となり、経常利益は81億65百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べて33.6%増加し、53億34百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、日常の生活関連消費における生活防衛意識の強さが続いている一方で、消費者の生活スタイルの変化等によって需要の多様化も見られます。

このような状況下において、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を築くとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、自販力の強化を図りました。また、物流費の抑制及び生産性向上に取り組み、経営の効率化を進めました。

以上の結果、売上高は5,209億56百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、営業利益は58億45百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、消費者の生活防衛意識は依然として高く、企業間の競争は一段と厳しさを増しており、人手不足もさらに深刻な状況で推移いたしました。

このような状況下において、大手得意先との取引の見直しを図り、商品提案など顧客のニーズに応えることで売上総利益率の改善に取り組むとともに、業務改善など生産性向上によるコスト削減に努めました。

以上の結果、売上高は723億7百万円（前年同四半期比1.8%減）となりましたが、営業利益は1億54百万円（前年同四半期は営業損失1億2百万円）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、所得環境の改善を背景に価格と価値を伴った上級化・上質化商品への需要移行が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。しかしながら、成熟化した市場の中で、国内人口の減少や少子高齢化に伴う飲酒人口の減少、若年層のアルコール離れによって酒類市場の縮小傾向が続いており、厳しい経営環境で推移いたしました。また、平成29年6月には酒税法等の一部改正法が施行され、今後の酒類市場における消費動向及び企業間の競争環境は先行き不透明であります。

このような状況下において、主要取引先との取り組みや利益商材の拡売など自販力の強化を図るとともに、利益管理を徹底し、コスト削減及び生産性向上を図ることでローコストオペレーションに取り組みました。

以上の結果、売上高は大手得意先との取引減少により1,378億84百万円（前年同四半期比2.9%減）となりましたが、営業利益は1億91百万円（前年同四半期比62.8%増）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流事業での取引増加により売上高は88億32百万円（前年同四半期比2.9%増）となりましたが、燃料コスト等の増加により営業利益は7億66百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ88億94百万円増加し3,136億83百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金並びに売上債権が増加したことから、73億60百万円増加し2,093億30百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により、15億34百万円増加し1,043億53百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、11億47百万円増加し1,883億58百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、6億37百万円増加し131億76百万円となりました。

純資産は、71億9百万円増加し1,121億48百万円となり、その結果、自己資本比率は34.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日の「平成28年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,635	66,679
受取手形及び売掛金	111,241	115,072
有価証券	1,873	2,416
商品及び製品	20,227	19,885
仕掛品	11	9
原材料及び貯蔵品	392	323
繰延税金資産	693	371
その他	6,289	4,967
貸倒引当金	△396	△395
流動資産合計	201,969	209,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,634	15,509
機械装置及び運搬具(純額)	2,707	2,429
工具、器具及び備品(純額)	506	510
土地	25,071	25,033
リース資産(純額)	1,537	1,305
建設仮勘定	4	22
有形固定資産合計	45,462	44,812
無形固定資産		
のれん	3,272	2,806
ソフトウェア	3,253	3,019
電話加入権	45	45
その他	47	59
無形固定資産合計	6,618	5,931
投資その他の資産		
投資有価証券	37,040	39,704
差入保証金	5,158	5,406
投資不動産(純額)	3,536	3,218
繰延税金資産	384	275
退職給付に係る資産	1,031	1,186
その他	3,644	3,870
貸倒引当金	△57	△52
投資その他の資産合計	50,737	53,609
固定資産合計	102,819	104,353
資産合計	304,788	313,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,372	175,205
短期借入金	892	787
リース債務	500	523
未払金	8,584	8,147
未払費用	232	145
未払法人税等	1,560	1,106
未払消費税等	275	739
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	1,142	733
役員賞与引当金	50	52
資産除去債務	9	—
その他	589	915
流動負債合計	187,210	188,358
固定負債		
長期借入金	566	363
リース債務	1,105	874
繰延税金負債	3,754	4,894
役員退職慰労引当金	369	325
退職給付に係る負債	5,234	5,253
資産除去債務	156	158
その他	1,352	1,305
固定負債合計	12,539	13,176
負債合計	199,749	201,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,813	8,842
利益剰余金	79,866	83,515
自己株式	△2,980	△2,981
株主資本合計	91,633	95,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,320	12,990
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	△472	△198
退職給付に係る調整累計額	502	486
その他の包括利益累計額合計	10,350	13,280
非支配株主持分	3,054	3,557
純資産合計	105,038	112,148
負債純資産合計	304,788	313,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	713,426	725,260
売上原価	667,677	678,058
売上総利益	45,749	47,202
販売費及び一般管理費	39,987	40,228
営業利益	5,761	6,973
営業外収益		
受取利息	144	177
受取配当金	560	595
不動産賃貸料	208	239
貸倒引当金戻入額	0	1
売電収入	90	94
その他	306	352
営業外収益合計	1,311	1,460
営業外費用		
支払利息	44	38
持分法による投資損失	10	42
為替差損	2	5
不動産賃貸費用	83	102
売電費用	69	61
その他	39	18
営業外費用合計	249	268
経常利益	6,823	8,165
特別利益		
固定資産売却益	18	433
投資有価証券売却益	67	69
特別利益合計	85	503
特別損失		
固定資産除売却損	52	77
投資有価証券売却損	11	5
たな卸資産廃棄損	152	—
リース解約損	0	2
特別損失合計	216	85
税金等調整前四半期純利益	6,692	8,583
法人税、住民税及び事業税	2,225	2,554
法人税等調整額	387	376
法人税等合計	2,612	2,931
四半期純利益	4,080	5,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	317
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,993	5,334

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	4,080	5,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,357	2,756
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	△420	314
退職給付に係る調整額	△4	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△20
その他の包括利益合計	△1,761	3,037
四半期包括利益	2,318	8,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,364	8,264
非支配株主に係る四半期包括利益	△45	424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	496,623	73,480	138,941	709,045	4,381	713,426	—	713,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,857	165	3,046	11,070	4,200	15,270	△15,270	—
計	504,480	73,646	141,988	720,115	8,581	728,697	△15,270	713,426
セグメント利益又は損失(△)	4,914	△102	117	4,930	823	5,753	8	5,761

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	512,776	72,157	135,718	720,653	4,606	725,260	—	725,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,179	149	2,165	10,494	4,225	14,720	△14,720	—
計	520,956	72,307	137,884	731,148	8,832	739,980	△14,720	725,260
セグメント利益	5,845	154	191	6,190	766	6,957	16	6,973

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。